学校番号	3005

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	第１学年	「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ」(数研出版) 「 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ」Workbook　(数研出版)

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①論理・表現Ⅰでは外国語学習の中でも特に「話すこと［やり取り］」「話すこと［発表］」「書くこと」といった発信力に力を入れて学習していきます。
②外国語の知識・技能を養うだけでなく、従来の思考力、表現力はもちろん触れる、理解する、表現し、その力を磨くということを目指します。
③物事に対して自分の考えや意見を持ち、それを表現できる論理的思考を養います。積極的に英語を使って自分の考えや意見を発表しようという意欲が必要です。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・趣味や部活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと聞き取ることにより、理解することができる。 ・教科書の英文を聞き、キーワードを把握できる。 ・英語による教室内のやり取りを正しく理解できる。	・挿絵や写真のある1～3文程度の情景描写を理解でき、バースデーカードなどのメッセージの内容を読み取ることができる。 ・英検3級から準2級レベルまでの英文を読み、概要を理解できる。 ・辞書を適切に使いながら、極力自力で文章の概要を理解できる。	・単語単位で話すことができる。 ・簡単な語や決まり文句を使って約束をしたり、レストランや電話での場面を想定してやり取りすることができる。 ・英語らしい英単語の発音ができる。	・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて自分や他者のことを紹介することができる。 ・決まった表現や形式を用いて、自分の気持ちを表現することができる。 ・英語らしいリズムで話すことができる。	・趣味や好き嫌いについて、簡単な語や基礎的な表現を用いて、箇条書きで複数の文を書くことができる。 ・30語程度の英文を書くことができる。 ・質問に対して、主語と動詞に注意して答えることができる。

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson 1 文型 2 時制(1) 3 時制(2)	聞くこと	a: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を聞き取る技能がある。 b: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を理解し必要な情報を聞き取り質問に答えることができる。 c: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現から必要な情報を聞き取り伝え合う姿勢がみられる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現をほぼ正しい英語で読むことができる。 b: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を読んで筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現の概要を捉え詳しく読む姿勢が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を用いて伝え合う技能を身につけている。 b: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を用いて伝える技能を身につけている。 b: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を筋道を立てて詳しく伝えることができる。 c: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング
		書くこと	a: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の意味や働きについて理解している。 b: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制の表現を用い筋道を立てて詳しく書くことができる。 c: 5 文型、現在形、過去形、未来の表現、現在・過去完了時制を用いて自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 4 助動詞(1) 5 助動詞(2) 6 受動態 7 不定詞(1)	聞くこと	a: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を聞き取る技能がある。 b: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を理解し必要な情報を聞き取り質問に答えることができる。 c: 助動詞、受動態、不定詞などの表現から必要な情報を聞き取り伝え合う姿勢がみられる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 助動詞、受動態、不定詞などの表現をほぼ正しい英語で読むことができる。 b: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を読んで筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 助動詞、受動態、不定詞などの表現の概要を捉え詳しく読む姿勢が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。 b: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング テスト
		話すこと （発表）	a: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を用いて伝える技能を身につけている。 b: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を筋道を立てて詳しく伝えることができる。 c: 助動詞、受動態、不定詞などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング
		書くこと	a: 助動詞、受動態、不定詞などの意味や働きについて理解している。 b: 助動詞、受動態、不定詞などの意味や働きを用い筋道を立てて詳しく書くことができる。 c: 助動詞、受動態、不定詞などを用いて自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	期末考査			

後期	Lesson 8 不定詞(2) 9 動名詞 10 分詞 11 関係詞(1)	聞くこと	a: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を聞き取る技能がある。 b: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を理解し必要な情報を聞き取り質問に答えることができる。 c: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現から必要な情報を聞き取り伝え合う姿勢がみられる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現をほぼ正しい英語で読むことができる。 b: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を読んで筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c:不定詞、動名詞、 分詞、関係詞などの表現の概要を捉え詳しく読む姿勢が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと (やり取り)	a: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。 b: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング テスト
		話すこと (発表)	a: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を用いて伝える技能を身につけている。 b: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を筋道を立てて詳しく伝えることができる。 c: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング
		書くこと	a: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの意味や働きについて理解している。 b: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などの意味や働きを用い筋道を立てて詳しく書くことができる。 c: 不定詞、動名詞、分詞、関係詞などを用いて自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	中間考査			
	Lesson 12 関係詞(2) 13 比較 14 仮定法	聞くこと	a: 関係詞、比較、仮定法などの表現を聞き取る技能がある。 b: 関係詞、比較、仮定法などの表現を理解し必要な情報を聞き取り質問に答えることができる。 c: 関係詞、比較、仮定法などの表現から必要な情報を聞き取り伝え合う姿勢がみられる。	リスニングテスト
		読むこと	a: 関係詞、比較、仮定法などの表現をほぼ正しい英語で読むことができる。 b: 関係詞、比較、仮定法などの表現を読んで筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 関係詞、比較、仮定法などの表現の概要を捉え詳しく読む姿勢が見られる。	定期考査 （リーディング）
		話すこと (やり取り)	a: 関係詞、比較、仮定法などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。 b: 関係詞、比較、仮定法などの表現を筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 c: 関係詞、比較、仮定法などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング テスト
		話すこと (発表)	a: 関係詞、比較、仮定法などの表現を用いて伝える技能を身につけている。 b: 関係詞、比較、仮定法などの表現を筋道を立てて詳しく伝えることができる。 c: 関係詞、比較、仮定法などの表現を用いた自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	スピーキング
		書くこと	a: 関係詞、比較、仮定法などの意味や働きについて理解している。 b: 関係詞、比較、仮定法などの意味や働きを用い筋道を立てて詳しく書くことができる。 c: 関係詞、比較、仮定法などを用いて自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。	ライティング課題 定期考査 （ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度